



プログラム早見表

9月12日(金) 前夜祭 ●参加費・1,000円
19:00~21:00 ●ゲスト紹介、オープニングパーティ
音楽 ●青虫楽団&KEN子(20分)

9月13日(土) 1日目

10:00~12:01 ●〈映画〉●影山あさ子・藤本幸久監督作品
「笹の墓標 第四章:未来へ」

13:00~14:30 ●〈講演〉「沖縄・辺野古の今」
+ 辺野古レポート上映
〈講師〉安次富浩(あしとみひろし)

15:00~17:30 ●〈映画〉「60万回のトライ」
●上映後、バク・サコ監督/バク・トンサ監督トーク

18:30~19:15 ●〈舞踊〉「インドの香り」
Catur Nati (チャトゥル・ナティ)
岡埜桂子/岸美和/星野あかね/堀 友紀子

19:30~21:30 ●〈ライブ〉青虫楽団&KEN子
〈青虫楽団〉宇井ひろし/西村嘉洋/川本真理

9月14日(日) 2日目

10:00~11:30 ●〈講演〉都裕史(ト・ユサ)
「韓国、沖縄、日本、米軍はいったい何をしようとしているのか!?!」

12:30~16:30 ●〈映画〉「クロンビ風が吹く」
+ チョ・ソンボン監督トーク+カンジョン現地レポート

17:00~19:00 ●〈映画〉シリーズ「戦争の記憶」
第1巻「沖縄で戦った北海道の若者たち」
第2巻「沖縄戦の少女たち」
+ 影山あさ子・藤本幸久監督トーク

20:00~22:00 ●〈ライブ〉SAFAIKO
山北のりこ/Mamadou Lo (ママドゥ・ロー)/
Mor Cisse (モル・シセ)

9月15日(月・祝) 3日目

10:00~12:30 ●〈映画〉「笹の墓標 第五章:私たち」
+ 上映後、影山あさ子監督トーク

13:30~15:30 ●〈講演〉「沖縄の反基地運動と国際連帯」
+ 韓国・梅香里(メヒャンニ)、平澤(ピョンテク)映像レポート
〈講師〉豊見山雅裕(とみやま・まさひろ)/俞漢子(ユ・ヨンジャ)

16:00~18:30 ●〈映画〉「もうひとつのヒロシマー
アリランのうた」
+ 上映後、朴 壽南監督トーク

19:00~21:00 ●さよならパーティー
音楽 ●ウ・ラッキーしげる ●参加費・1,000円

■ドキュメンタリー ■ライブ・他 ■講演 ■パーティー

[チケット]

〈3日間通し券〉前売■3,000円 当日■3,500円
〈1日券〉2,000円*当日券のみ

*3日間通し券の前売券は下記の場所で販売します。
またメール、電話での予約も受付ます。
*1日券は前売りをしません、当日会場受付でお求めください。
*通し券はパーティーを除くすべてのプログラムに有効。
*1日券でパーティーを除くその日の全てのプログラムに有効。
*パーティーを除く全てのプログラム、高校生以下無料。
*オープニング&さよならパーティー/各1,000円

〈チケット取扱場所〉

帯広市 ●藤丸チケットぴあ (帯広市西2南8 / 0155-24-2101)
音更町 ●のんびり屋 (音更町下土幌北3線東51-50 / 0155-30-8022)
新得町 ●新得町教育委員会 (新得町・公民館内 / 0156-64-0532)
●相馬商店 (JR新得駅前 / 0156-64-5055)
●BeWild (新得町北新得 / 0156-64-5200)

[アクセス]

●千歳空港より~JR特急南千歳乗換約2時間
●帯広空港より~まずJR帯広駅まで連絡バスで40分帯広駅からJRで約1時間
●千歳空港より~道東道経由・十勝清水ICから一般道、約2時間
●札幌から~JR特急で約2時間、車で約4時間(高速経由で約3時間)
●旭川から~JR利用で約3時間、車で約2時間半(狩勝峠経由)



★JR新得駅からは約10km、歩くと2時間程かかります。送迎車などはごさいませんが、JRで新得に到着された方は下記(会場直通)まで電話ください。タイミングが良ければ、他の誰かの車に便乗できるかも知れません!

[お問い合わせ/およびチケット予約]

お問い合わせ ●090-8278-6839 (映画祭事務局)
または ●090-6216-1528 (映画祭帯広事務所)
新内ホール・会場直通 ●0156-64-3161 (会期中のみ!)
*メールでのお問い合わせは...staff@kuusounomori.com

公式サイト <http://www.kuusounomori.com/>
……「空想の森映画祭」で 検索
*プログラムはWebでも公開中!

第19回
SHINTOKU
空想の森映画祭

主催 ●SHINTOKU 空想の森映画祭実行委員会 / 北海道新聞帯広支社
後援 ●新得町・新得町教育委員会

〈会期〉2014
9.13.(土) - 15.(月・祝)

〈会場〉新内ホール(旧新内小学校)
北海道上川郡新得町字新内

■お問い合わせ/チケット予約 ●090-8278-6839 (映画祭事務局/藤本)
*または ●090-6216-1528 (映画祭帯広事務所/野田)
■会場直通(会期中のみ) ●0156-64-3161 (新内ホール)

<http://kuusounomori.com/>

★ボランティアスタッフ募集! ★出店者も募集しています。
★プログラムはWEBからもご覧になれます。

第19回 SHINTOKU 空想の森映画祭

9月12日(金)☆前夜祭 19:00~21:00
☆参加費・1,000円(立食パーティー)

音楽 ●青虫楽団&KEN子(20分)
●ゲスト紹介、オープニングパーティ

1日目●13日(土)

●10:00~12:01 **ドキュメンタリー**

「笹の墓標 第四章:未来へ」

2013年/日本/121分
影山あさ子・藤本幸久監督作品
1997年、強制連行・強制労働の犠牲者の遺骨発掘にはじまる、日本・韓国・在日コリアンの若者たちの15年の軌跡。遺族調査、遺骨返還、国境を越えて生きる場所を見出してゆく若者たちの出会い。共通する歴史と向き合いながら、若者たちは、どのような未来を生きようとしてきたのか。
イラク戦争、拉致問題、再び強まる日本の排外主義と在日の若者たち。ともに平和な未来を生きてゆきたいという若者たちの願いは…。



左・藤本幸久監督/右・影山あさ子監督

●13:00~14:30 (90分) **講演**

安次富浩講演●「沖縄・辺野古の今」 + 辺野古レポート上映

日本政府の構造的沖縄差別による辺野古新基地建設の押し付けと政府に抵抗するオール沖縄の新たな動き。沖縄の闘いは平和的生存権及び自己決定権の確立に向けた非暴力・抵抗闘争である。民衆は粘り強く、したたかに闘い抜く。



●〈講師〉安次富浩(あしとみひろし)
へり基地反対協共同代表

●15:00~17:30 **ドキュメンタリー**

「60万回のトライ」

2013年/日本/106分
朴思柔(パク・サユ)/朴敦史(パク・トンサ)監督
大阪生まれ、大阪育ち。見た目は日本人と変わらない。そんな彼らが通うのは大阪朝高(オーサカチョーコー)。高校ラグビーの激戦地で強豪校の仲間入りを果たし、日本一を目指して闘っている彼らの胸にはどんな想いがあるのか。いまだきの彼らの素顔を描いた青春ドキュメンタリー映画。



●上映後、両監督のトーク 左・パク・サユ監督/右・パク・トンサ監督

●18:30~19:15 (45分) **舞踊**

舞踊「インドの香り」

南西インドのモヒニヤタム、南インドのパラタナティヤム、東インドのオリッシー。古の時代からインドに伝わる祈りの舞。CaturNati(チャトゥル・ナティ)/岡埜桂子、岸美和、星野あかね、堀友紀子の4人の踊り子が新得の夜を鮮やかに彩ります。



●19:30~21:30 (120分) **ライブ**

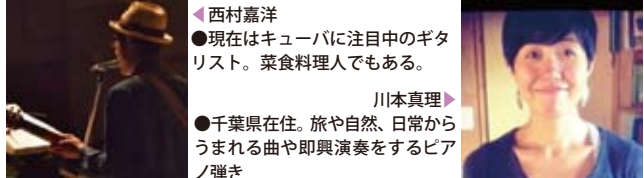
ライブ 青虫楽団&KEN子

●「青虫楽団」食と音楽をこよなく愛する仲間が結成!
今回は沖縄と北海道を音楽で結びます。



●新得町で有機農場を営みつつ有機的な音楽を追求している人呼んでシンガーソングライター。最近では沖縄や関東に春先のライブツアーを行う。代表曲「青虫の歌」

宇井ひろし



●西村嘉洋
●現在はキューバに注目中のギタリスト。菜食料理人でもある。

川本真理

●千葉県在住。旅や自然、日常からうまれる曲や即興演奏をするピアノ弾き

『歌って笑って沖縄大問題!』

沖縄の大問題はもとより、諫早、上関、八ッ場ダム、高尾山、そして北は青森の大間、泊原発まで、全国各地の大問題を見て触れて感じた事は「全ては水と空気が繋がっている」という「当たり前」であるはずの大切な事でした。
KEN子
●沖縄の環境問題を中心に全国の現場にも足を運び、トークライブやコラム、webなどで伝える&行動する「沖縄エコ番長」。



2日目●14日(日)

●10:00~11:30 (90分) **講演**

都裕史講演●「韓国、沖縄、日本、米軍は いったい何をしようとしているのか!?!」

韓国、濟州島で「米軍使用」に向けて強行されている韓国海軍基地の建設、沖縄、辺野古での米軍基地新設の無理強い、そして、日本の近畿地方で初めて京丹後市の経ヶ岬に米軍の X バンドレーダー基地が住民の意向に反して作られようとしている。何が起きているのだろうか?



●都裕史(ト・ユサ) ●米軍犯罪被害者救援センター事務局長

●12:30~16:30 (240分)

「クロンビ風が吹く」上映 + チョ・ソンボン監督トーク + カンジョン現地レポート



チョ・ソンボン監督

●12:30~14:40 **ドキュメンタリー**

「クロンビ風が吹く」

2013年/韓国/100分
チョ・ソンボン監督作品

2007年、突然江汀(カンジョン)村が海軍基地予定地域に指定され、基地建設工事が進められて以来、住民や市民団体による反基地闘争が7年間続いている。海軍基地建設は国家安全保障や経済論理が作り上げた「軍民複合型観光光港の建設」という「大規模な詐欺」である。韓国政府は、子供も含めて1,000人余りが住んでいる小さな村に1,400人の陸上機動隊を投入し、一方的かつ暴力的に基地建設を強行している。基地建設を阻止しようと闘争してきた600人余りの人々が逮捕され、連行、拘束された。今もなお続いている彼らの「巨大な闘争」と「歴史の風」をカメラに収めた。



■2014年9月13日(土)・14日(日)・15日(月・祝)の3日間 ■新得町新内(にいない)ホール ●北海道上川郡新得町新内

●15:00~16:30 (90分) **カンジョン現地レポート**

①「今、起きていること」

タルギ(平和の風メンバー/活動家)
韓国済州島、江汀(カンジョン)村の海軍基地建設反対闘争8年。30余名を拘束され、3千万円を超える罰金を課されても、尚、権力の弾圧に屈することなく、平和の為に闘う勇敢な人々にたいする話をしたい。



タルギ

②「今後の反基地闘争の課題」

オ・トゥヒ(平和の風メンバー/活動家)
韓国全土を駆け巡りながら、歌い語ることを通して国家権力に立ち向かう人々と出会い続けている。現在は済州島海軍基地建設反対闘争の只中、江汀住民となり今後の継続的闘争の為に、共同組合活動を展開している。その報告。



オ・トゥヒ

●特別スピーチ:ムン・ジョンヒョン神父

朴正熙政権の時代から、平和と民主主義の実現のために、現場に立ち続けている。韓国では、「路上の神父」と呼ばれている。



ムン神父

●17:00~19:00 (120分) **ドキュメンタリー**

シリーズ「戦争の記憶」

2014年/日本/影山あさ子・藤本幸久監督作品

+ 影山あさ子・藤本幸久監督トーク

どの戦場でも、最大の犠牲者は住民たちであり、どの戦争でも、兵士になるのは、その時代の若者たちだ。「戦争の記憶」シリーズは、同時代の記憶を若い世代に伝える試み。



第1巻「沖縄で戦った北海道の若者たち」(2014年/22分)

沖縄戦で1万人を超える北海道の若者が亡くなった。170人の中隊で、生き残ったのは3人だけだったという満山凱文さん(土土幌町出身)の体験。若者たちは、どんな戦場で死んでいったのか。

第2巻「沖縄戦の少女たち」(2014年/22分)

降り注ぐ砲撃、避難した壕に投げ込まれる手りゅう弾、火炎放射器の炎…。当時16歳の中程シゲさん、15歳の島袋文子さんが語る戦場に置かれた住民の体験。

●20:00~22:00 (120分) **ライブ**

SAFAIKOライブ

アフリカの太鼓(ジェンベ、サバル、ドゥンドン)や木琴をリズムカルに演奏しながら、セネガルの言葉(ウオロフ語)や日本語でうたいます。聞いている人は自然に体が動き始めます。セネガルのトップミュージシャンと個人的な日本人による白熱のライブ!



Mamadou Lo (ママドゥ・ロー)

セネガルのグリオ(歴史の語り部であり、かつ音楽家)の家系に生まれ、幼少の頃からプロとして活躍、14種類のアフリカの太鼓を演奏。国内外のミュージシャンとのコラボレーション多数。ステイービー・ワンダーも愛してやまぬパーカッションリスト。



▲ 山北のりこ

北海道大学在学中にアフリカで太鼓に出会う。2001年にママドゥ・ローと共に[SAFAIKO]を結成。現在、奄美大島を拠点に活躍中。



Mor Cisse (モル・シセ)

セネガル、グリオ伝承家系のミュージシャン。ジェンベ、トーキングドラム、ドゥンドン、サバル等、太鼓類はなんでもこなすセネガル国立舞踏団ソリスト。

3日目●15日(月・祝)

●10:00~12:30 **ドキュメンタリー**

「笹の墓標 第五章:私たち」+ 影山あさ子監督トーク

2013年/日本/104分
影山あさ子・藤本幸久監督



かつての若者たちも父となり、母となった。北海道芦別町の強制労働犠牲者遺骨発掘と2012年「私たち」の現在地。

●13:30~15:30 (120分) **講演**

講演●「沖縄の反基地運動と国際連帯」

メヒヤニ ヒョンデク
+ 韓国・梅香里、平澤映像レポート

豊見山雅裕(とみやま・まさひろ) ●
沖縄・韓国、民衆連帯代表

沖縄の国際連帯運動。なぜ、それが必要であり、なぜ私たちがそれを求めてきたのか。これまでの経緯と現在段階での報告、これからどのように進むのか、その模索と課題(豊見山)。



俞漢子(ユ・ヨンジャ) ●
真宗大谷派僧侶

希望は民衆連帯の中に。映画を通して出会う人々の真摯な姿に、海を越える民衆連帯の一つの可能性を感じた。2013年韓国での「ラブ 沖縄」上映会の感動を伝えたい。(俞漢子)



●16:00~18:30 (150分) **ドキュメンタリー**

「もうひとつのヒロシマ —アリのうた」

パク・スナム
+ 朴壽南監督トーク

1986年/日本/58分/朴壽南監督作品
*最新作の紹介もあり。

監督・朴壽南は1965年、日本の植民地支配によって被爆を余儀なくされたコリアン被爆者の実態調査を開始。「ピカに38度線はない」と広島市の被爆同胞に呼びかけ証言運動を展開。強制連行そして被爆。戦後補償から取り残された彼らの存在の回復をかけて完成した本作は唯一の被爆国日本の反核運動に大きな衝撃を呼んだ。

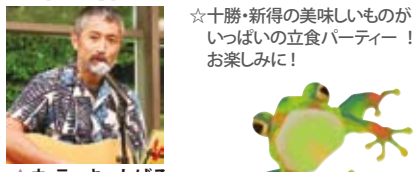


朴壽南監督

さよならパーティー ●19:00~21:00

音楽 ●ウ・ラッキーしげる(30分)

音更町下土幌で、天然酵母パンの店「のんびり屋」を営んでいる。日常の何気ない生活の中で起こる出来事を題材に時にはまじめに、時にはおもしろおかしく、オリジナルソングを歌う。さて、今年はどうな新曲が飛び出すか?



▲ウ・ラッキーしげる

〈参加費●¥1,000〉
☆十勝・新得の美味しいものがいっぱい!の立食パーティー!お楽しみに!



■ドキュメンタリー ■ライブ ■講演 ■パーティー